

【日 時】 平成 26 年 2 月 12 日

【訪問先】 六浦小学校 寺島修一校長先生

【概 要】 児童数 708 名 23 学級 個別学級 2 組 職員数 45 名

【視察報告】

1. 学校としての伝統的な教育目標

むつみあう心で人に接し、小鳥のように仲の良い子
つとめて学びの美智に励み、花のように実を結ぶ子
うまずたゆまず体を鍛え、風のように強い子
らんらんと瞳を輝かせ、太陽のように明るい子

2. 英語・国際理解の取り組み

国際教室においてプラス1の教員を設け、支援の必要な生徒にマンツーマンで指導している。

また、金沢国際ラウンジと連携を取り、ボランティアと共に支援している。ネパール語の通訳の出来る人材が見つからず苦労した。



3. 地域のボランティアの協力・関わり

関東学院大学が協力してくれていて、地域の学生のボランティアの協力が手厚い。「ふれあい会食会」、「ふれあいタイム」といった場を通し、地域とのつながりを大切にしている。

地域の方が見守り隊で子供の登校をサポートしている。

4. 授業での力を入れた取り組み

4, 5, 6年生を対象に、教科別に先生が担当し、学力向上に努めるとともに、中学校入学後のスムーズな移行が出来るように工夫している。



英語を使った遊びの張り紙

5. 学校組織の強化・人材育成

六浦中学校との連携・交流を通して、中学進学に希望を持たせる取り組みを行なっている。

6. その他

今年度で創立 140 年を迎える。歴史と伝統を壊さないように努めている。いじめや発達しょう害の子供の補佐として、児童支援選任教諭を置いている。

近隣に1600世帯の大規模マンションが出来て、数年前に一学年一クラスから四クラスに児童数が激増した。現在も児童の6割は、大規模マンションから通っているが、心配していた旧市街地の子供たちとの関係も特に問題なくうまくソフトランディングしている。



初代校長の肖像画

【所 感】

地域交流の場の話が印象的で、学校が地域の方々やボランティアの方との関係を大事にしている様子が伝わってきた。特に学生のボランティアに大いに助けられている様子でお互い良い関係を保ち活動しているようだ。やはり古い絵画や物が至るところに見受けられ、学校の歴史の長さが感じられた。

